



2020～21年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

Weekly Report Niigata



国際ロータリー
2020～21 年度テーマ
ロータリーは機会の扉を開く



2020～21 年度
新潟ロータリークラブ会長
高橋 秀松

新潟 RC 1 月第 1 例会 (2021.1.12) (書面例会併催) No.3349

- (1) 「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」演奏
- (2) 新年を寿ぎシャンパンで乾杯
- (3) 高橋 秀松会長挨拶

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

新潟では、3年ぶりに新潟らしい冬となりました。年末年始にかけて、大雪注意報が出るなど、大荒れの年明けでした。

天候とは裏腹に我が家では、子供も孫も帰ってこられず、妻と母との3人の静かで穏やかな、少し寂しい正月を迎えることができました。会話が続き、年取りの夕食も30分で終わってしまい、紅白を見ても名前と顔がわからず、早々に寝てしまいました。そんな訳で、個人的にはだらだらとした正月を過ごしてしまいました。今日は、正月気分もぬけて、気持ちを引き締めて例会に臨んだ次第です。

独楽鼠のように、走り回るといった2020年から、牛歩のごとく一歩一歩着実に進む2021年が始まったわけです。

昨年はコロナで始まりコロナで終わってしまった1年でした。

新型コロナウイルスは、世の中の景色を一変させ、経済活動には急ブレーキがかかり、世界のあちこちで、分断や対立、格差の拡大等が目立った年ではなかったでしょうか。今年はアフターコロナに向けて、立ち直す再生の年としたいものです。

さて、今日はロータリーの目的についてお話しします。少し前までは、綱領と言っていました。英語を訳したもので、混乱するのを防ぐため目的という言葉で表現させて頂きます。皆さんご存じの、「ロータリーの目的」です。

1906年、最初のシカゴクラブの定款には2つの目的が期されていました。

1. 本クラブ会員の事業上の利益の増大。
2. 通常社交クラブに付随する、親睦及びその他の特に必要と思われる事項の推進
3. シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める

この定款の内容は、会員の事業の発展と親睦を歌い上げたものであり、事業発展の手段としてもっぱら推奨されていた方法は、会員同士の物質的相互扶助でした。

そしてその年の12月に、社会的奉仕活動を示唆する第3条を追加し、その後続々と創立されたシカゴ以外のクラブは、第3条の「シカゴ市」の部分それぞれのテリトリーを表す市名に置き換え、他の部分はほぼそのままの形で使われていました。

その後、1912年ミネソタ州ダールズで開催された大会で、国際ロータリークラブ連合会の目的と、標準ロータリークラブの目的とが分離されました。それぞれ下記のように定められます。

国際ロータリークラブ連合会の目的

1. ロータリーの原則を標準化し、全てのロータリークラブが地元の事情に適應する範囲で、それを採択するように奨励すること
2. 世界の全ての商業中心地にロータリークラブを結成するように奨励推進すること
3. 既存するロータリークラブの活動と、在籍する会員および地域社会に対するクラブの価値を研究し、その結果得られた情報を全てのロータリークラブに明示すること
4. 広い友愛の精神と、各国各都市の事業および専門職種に従事するロータリアンと、加盟クラブの間の利益の調和を推進すること

この頃のRIは、拡大とロータリークラブロータリアン同士の調和を進めていたようです。

標準ロータリークラブの目的

1. すべての合法的職業は尊重されるべきであるという認識を深め、各会員の職業を社会に対する奉仕の機会を提供するものとして品位あらしめること
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めるよう奨励すること

- 3. 構想や事業運営方法の交換によって各会員の能率を増進すること
- 4. 奉仕の一つの機会として、また成功への道として、情理ある交友関係を推進すること
- 5. 公共の福祉に対する各会員各自の関心を促し、かつ市の発展のために、他の人々と協力すること

この目的採択の前年ポートランドの大会では、シェルドンが提唱していた奉仕の理念、He profits most who serves best「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」が採択されており、この頃従来の、会員の親睦と物質的互惠を中心にした社交クラブ的な色彩が一掃され、職業奉仕、職業倫理の課題を真剣に考え始めたことが読み取れます。

ロータリーの目的(綱領)は時代と共に変更が繰り返されて、その時の情勢に合わせて調整が行われました。そして1951年のアトランティックシティ大会に最後の改訂が行われ、現在のロータリーの目的となった訳です。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある。具体的には次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって、奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアンの各自の職業を高潔なものとする。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において日々、奉仕の理念を实践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

私にとっては解りづらい、文章となっていますが、ここに至るまでに実に様々な変遷があって現在の「目的」になっているわけです。また英語を日本語に訳す段階で、若干ニュアンスも、違ってきています。ましてや「奉仕の理念」とは何ぞや、と考えたらきりがありません。皆さんも今一度、「ロータリーの目的」を熟読していただき(ロータリーの友に毎回載っています)、皆さんの言葉で感性で理解し、感じ取っていただきたいと思います。

今日はロータリーの目的について、話させていただきました。

ちなみに今現在のRIの目的は

- 1.ロータリーの綱領を推進する活動をしているクラブや地区を支援すること
- 2.全世界で、ロータリーを奨励、拡大、管理すること
- 3.RIの活動を調整し、指導すること

(4) 米山奨学生挨拶

チュウ シュン ジェイさん 奨学金贈呈

(5) 100%出席バッチの贈呈(石川治孝出席委員長)

内田 直樹君 2年 河西弘太郎君 3年
徳永 昭輝君 12年 石本隆太郎君 39年

(6) 新年各種御祝い贈呈(井東昌樹親睦委員長)

年男9名 還暦2名 喜寿2名 長寿6名 成人3名

(7) 誕生日お祝い贈呈(7名)(高木言芳親睦委員)

(8) 結婚記念日お祝い紹介(1名)(高木言芳親睦委員)

(9) ロータリーの友紹介(梅澤哲雄広報会報雑誌委員)

(10) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(安藤 栄寿委員長)

安藤 栄寿君 石橋 正利君

青少年育成基金寄付発表あ

本間 彊君 津久井勝之君

(11) ニコニコボックス紹介(小飯田 澄雄委員長)

・内山清君 年男祝いありがとうございました。

・津久井勝之君 本年は年男ということで皆さんに福を招けるようニコニコします。

・吉田和弘君 誕生日のお祝いと長男の成人祝いとお礼を込めてニコニコします。

・小飯田澄雄君 今年、年男です。ニコニコ致します。

・本間彊君 長寿祝のお菓子をご用意頂きありがとうございました。

・福地 利明君 年賀状を失礼した方が居られたので申し訳ありません。ごめんなさい。

・鈴木 滋弥君 会員の方々から年賀状をいただきました。本年も宜しくお願いします。

(12) 幹事報告(佐藤 邦栄)

・ロータリーレートが1月より1ドル104円になりました。

(13) 1月12日例会の参加率

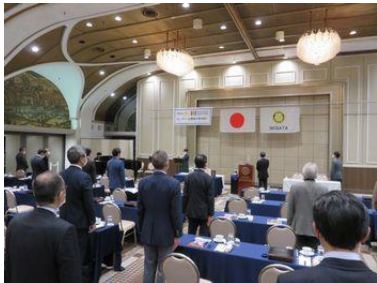
会員数	算定対象者	出席者	参加率
90	85	50	58.82

「新春ミニコンサート」

フルート 佐藤結梨恵さん

サクソ 星野真紀子さん

ピアノ 濱田道子さん



1月19日の例会予定

職業奉仕月間に因むお話

若槻 良宏職業奉仕委員長

1月12日 理事会報告 出席者11名

- 1 2021-22 年高尾ガバナー年度地区役員推薦依頼について(提出済 事後報告) =承認
・ 青少年奉仕委員会 インターアクト委員会委員 佐藤 隆夫君
- 2 1月のプログラム
1月 5日 例会取消
1月12日 新春ミニコンサート
1月19日 会員スピーチ
職業奉仕委員会担当 若槻良宏君
1月26日 会員スピーチ
バンビル法律事務所 代表社員 荻原俊一君
- 3 今後の例会開催について
首都圏中心に緊急事態宣言がだされ新潟においても今後感染拡大の可能性がある中、今後も今まで通りスクール形式で開催し、書面例会を維持する。外部講師については、当面招集しないこととし、会員スピーチを進める。また、会長方針に従って、オンライン例会について検討する。今後、感染拡大に至った場合における例会開催の判断については、会長・幹事に一任することとする。
- 4 その他
・ 地区特別分担金（青少年育成活動資金）
下期分1700円免除の件報告
・ 樋熊紀雄君より、体調不良のため、2020年12月末をもって退会の申し出があり、2月理事会にて審議する。ご本人は、体調回復次第、再入会の意向である。また、次年度副会長であるので、別の会員を副会長に推挙し、クラブ細則第三条第三節により、今後の例会にて承認を受けることとする。
・ 現在、休会制度は存在しないが、他クラブの状況も確認して、検討するかどうか、方向性を検討していく。